

おいでよ！！うつぐみの郷・12月

12月24日（火） ～ 12月25日（水）

IN うつぐみの郷

	午前	午後	夜
1日目			クリスマスパーティー
2日目	餅つき・大掃除	しめ縄づくり・施設出発・解散	

一日目： 夕方から合流し、うつぐみへ向かいました。うつぐみに近付くにつれ、寒さが増し、途中に残雪を確認出来ました。うつぐみの郷に到着すると、夕飯の準備が出来ており、部屋中に美味しそうな香りが漂っていました。今晩は“鍋”です。人数が少ないので、こたつに入りながら鍋を食べました。こたつに入りながらの鍋は格別で、何度もおかわりをされていました。食後、片付けと入浴を済ませ、お待ちかねの【クリスマスパーティー】を行いました。まずはみんなで豪華なケーキを食べ、次にプレゼント交換を行いました。みんながみんなの事を考え、思い選んだ品々に喜びの表情が伺えました。パーティーを十分に楽しみ、就寝するため布団に入りました。すると、遠くから鈴の音が聞こえてきました。サンタがみんなのもとにやってきました！！プレゼントを持ってきてくれて、一人ひとり受け取りました。最後まで楽しい一日でした。



二日目： 昨夜は遅くまで起きていたので、朝は少し遅めの起床となりました。起床後は洗面、着替え、片付けを済ませると、朝食作りに取り掛かりました。メニューは【ホットサンド】です。ホットサンドメーカーを使って作りました。お好みの具材を入れ、各自焼き、美味しくいただきました。朝食後はみんなで大掃除を行いました。一年の感謝の気持ちを込めて、屋内を隅から隅まで掃いたり、拭いたりしてキレイにしました。掃除を終えると屋外に行き、【餅つき】をしました。初めて餅をつく方もおられ、興味津々な様子でした。杵を振り上げ、力いっぱい振り下ろしますが、杵が餅に当たらず、なかなか上手くつけません。コツを教わり、何度か繰り返すうちに徐々に餅の真ん中に当たるようになり、「ペタンッ！！」と良い音が聞こえてきました。みんなの「ヨイショー！！」の掛け声と共に、美味しそうな餅がつき上がりました。つきたてを食べてみると、市販のものとは比べ物にならないほどモチモチしており、深い味わいのある美味しさでした。ついた餅を冷めないうちに切り分け、丸めなければならないので、手分けして行いました。昼食はこの餅をいただきました。きな粉にまぶしたり、砂糖醤油につけたり、お雑煮にしたりしていただきました。よほど美味しかったので、何個もおかわりをされていました。お土産の餅も沢山でき、嬉しそうにされていました。午後は最後のプログラムとして【しめ縄】を作りました。藁を束ね、捻り、巻いていくので、非常に力が必要となります。みんなで協力して作りました。どれも想いを込めて、丁寧に仕上げたので、効果は高いと思います。最後、こたつでぽっこりと休憩をしてから施設を出発しました。朝からノンストップで作業したため、帰りの車内はぐっすり休まれています。



<キャンプ総括>

今年の当イベントは、時期的に厳しく、参加者は大変少人数での開催となりました。その分、沢山のプログラムを実施することが出来、お腹いっぱい召し上がっていただき、お土産も沢山お持ち帰りいただき、満足度は高いと感じております。本来、このようなタイトな時期にイベントを組まないのですが、それでも開催したかった理由は、【本当に価値が高い】からです。うつぐみの冬はとても寒いです。だからこそこたつの存在は大きく、鍋は体と心の芯から温まります。こうした厳しい環境を経験することで、日本の四季をより深く感じていただきます。夏とは真逆で、昼夜問わず静かです。草木も色あせており、全体的に寒々としている昔ながらの日本の冬を感じる事が出来る貴重な場所です。そんな風流を皆さんに感じていただける価値を、来年も皆さんにお伝え出来ればと思っております。

（竹中 哲郎）